

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社MAGねっとホールディングス  
 コード番号 8073 URL <http://www.magnet-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大島 嘉仁  
 (氏名) 末松 知史

TEL 03-5643-0620

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	350	△85.6	△92	—	△72	—	△74	—
23年3月期第2四半期	2,434	△51.3	△746	—	△827	—	△347	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △74百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △351百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3.85	—
23年3月期第2四半期	△17.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,753	4,004	51.6
23年3月期	7,969	4,079	51.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,004百万円 23年3月期 4,079百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	538	△82.7	△334	—	△253	—	621	—	31.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	19,455,339 株	23年3月期	19,455,339 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	587 株	23年3月期	661 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	19,454,741 株	23年3月期2Q	19,454,777 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)のわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に持ち直す動きも見られたものの、世界的な経済不安を背景とした歴史的な円高、産業の空洞化懸念など先行きが不透明な状況で推移しました。

このような経済情勢のもと、当社グループにおきましては、前期において、さまざまな事業環境の変化を受けて、事業体系の抜本的な見直しによる経営の効率化に取り組み、不採算となっていた貸貸保証事業及びパソコン関連製品販売事業の整理・撤退を行ったことにより、今期においては債権回収事業に経営資源を集中させて収益力の改善と安定的な事業運営体制の構築に努めました。

サービス業界では、金融機関の不良債権処理の減少による市場規模縮小に加え、中小企業金融円滑化法の期限が平成24年3月まで延長されたことから、引き続き厳しい環境が続く見通しではありますが、同事業を営む連結子会社の株式会社ジャスティス債権回収は、既存の買取債権の精査作業を強化し、収入の確保に努める一方、新たな収益源の獲得に向けた営業活動を継続しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、貸貸保証事業及びパソコン関連製品販売事業からの撤退により大幅な減収となり、350百万円(前年同期比85.6%減)となったものの、損益面では、上記2事業の撤退効果の他、グループ全体でのコスト削減に継続して取り組んだことにより、営業損失は92百万円(前年同期比654百万円の改善)、経常損失は72百万円(前年同期比755百万円の改善)、四半期純損失は74百万円(前年同期比272百万円の改善)となりました。

#### [セグメント別の概況]

##### ① 債権回収事業

債権回収事業につきましては、不良債権のマーケットが縮小傾向にある中、新規の債権買取は低調に推移したため取扱高はほぼ横ばいとなっておりますが、サービシング業務の効率化や回収力強化に引き続き取り組むとともに、保有する回収の進んでいない既存買取債権の精査作業と回収戦略の見直しに注力してまいりました。また、今後の安定的な収益体制構築に取り組むことが緊急の課題であるとの認識にたち、金融機関等からの新規債権の買取、各自治体の回収業務の受託拡大に向けた営業活動を行っております。

この結果、当期間の売上高は299百万円(前年同期比14.2%増)となりましたが、買取債権に係る貸倒引当金の積み増しなどにより、営業損失は、23百万円(前年同期も23百万円の損失)となりました。

##### ② ファクタリング事業

ファクタリング事業につきましては、現在、株式会社IFのクーポンファクタリング事業及び大口ファクタリング事業を休止しておりますが、既存の貸付債権について管理・回収を行っております。

当期間の売上高は、営業貸付金の減少により50百万円(前年同期比55.5%減)となりました。営業利益は、前年同期に計上した貸倒引当金繰入額がなかったことなどにより、38百万円(前年同期は65百万円の損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は7,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円減少しました。流動資産は125百万円減少しました。これは主に貸倒引当金の増加等によるものです。固定資産は敷金・保証金の減少等による投資その他の資産の減少等により90百万円減少しました。

負債は3,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少しました。これは主に借入金の返済による減少等によるものです。

純資産は4,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少しました。これは四半期純損失の計上によるものです。

(連結キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、14百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失が72百万円、預け金の増加が120百万円あった一方で、貸倒引当金の増加が131百万円、買取債権の減少が70百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、66百万円の収入となりました。これは主に匿名組合出資金の払戻による収入が48百万円、敷金及び保証金の回収による収入が10百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、112百万円の支出となりました。これは主に短期借入金の返済による支出が109百万円あったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、7百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想は、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを踏まえ、また、平成23年11月2日付「子会社の債務免除に伴う特別利益の計上に関するお知らせ」に記載の事由により、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38	7
受取手形及び売掛金	39	39
営業貸付金	2,943	2,922
買取債権	6,261	6,176
未収入金	786	782
短期貸付金	894	893
その他	537	670
貸倒引当金	△4,348	△4,465
流動資産合計	7,152	7,026
固定資産		
有形固定資産	39	35
無形固定資産		
その他	52	40
無形固定資産合計	52	40
投資その他の資産		
その他	1,058	986
貸倒引当金	△332	△334
投資その他の資産合計	726	651
固定資産合計	817	727
資産合計	7,969	7,753
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2	0
短期借入金	1,709	1,594
未払金	329	292
未払法人税等	19	7
債務保証損失引当金	1,108	1,105
その他	660	688
流動負債合計	3,831	3,688
固定負債		
その他	59	60
固定負債合計	59	60
負債合計	3,890	3,749
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,609	7,609
利益剰余金	△3,529	△3,604
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,079	4,004
純資産合計	4,079	4,004
負債純資産合計	7,969	7,753

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,434	350
売上原価	1,574	1
売上総利益	860	348
販売費及び一般管理費	1,606	440
営業損失(△)	△746	△92
営業外収益		
受取利息	19	15
受取手数料	—	20
匿名組合投資利益	42	41
雑収入	19	23
営業外収益合計	81	101
営業外費用		
支払利息	146	74
支払手数料	4	4
雑損失	12	2
営業外費用合計	162	81
経常損失(△)	△827	△72
特別利益		
投資有価証券売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	356	—
債務保証損失引当金戻入額	30	—
その他	157	—
特別利益合計	548	—
特別損失		
固定資産処分損	10	—
関係会社株式評価損	110	—
その他	72	—
特別損失合計	192	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△471	△72
法人税、住民税及び事業税	5	2
過年度法人税等戻入額	△123	—
法人税等調整額	△5	—
法人税等合計	△124	2
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△347	△74
四半期純損失(△)	△347	△74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	—
その他の包括利益合計	△4	—
四半期包括利益	△351	△74
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△351	△74
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△471	△72
減価償却費	78	17
のれん償却額	5	—
受取利息及び受取配当金	△19	△15
支払利息	146	74
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	—
匿名組合投資損益(△は益)	△42	△41
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△75	131
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△30	—
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△61	—
営業貸付金の増減額(△は増加)	820	21
売上債権の増減額(△は増加)	103	△0
買取債権の増減額(△は増加)	129	70
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22	—
預け金の増減額(△は増加)	—	△120
未収入金の増減額(△は増加)	76	6
立替金の増減額(△は増加)	183	0
仕入債務の増減額(△は減少)	37	△2
未払金の増減額(△は減少)	39	△14
その他	△589	11
小計	303	67
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	△7	△38
法人税等の支払額	△52	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	246	14
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3	—
無形固定資産の取得による支出	△8	—
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	—	6
敷金及び保証金の差入による支出	△16	—
敷金及び保証金の回収による収入	33	10
匿名組合出資金の払戻による収入	—	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	3	66
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250	7
短期借入金の返済による支出	△192	△109
長期借入金の返済による支出	△4	△11
社債の償還による支出	△1,250	—
その他	△0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,196	△112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△946	△31
現金及び現金同等物の期首残高	983	38
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	37	7

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸保証	債権回収	パソコン 関連製品 販売	ファクタ リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	374	262	1,684	113	2,434	0	2,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	1	37	9	47	△47	—
計	374	263	1,721	123	2,482	△47	2,434
セグメント損失(△)	△340	△23	△56	△65	△486	△259	△746

(注)1. セグメント損失の調整額△259百万円には、セグメント間取引消去△40百万円、のれんの償却額△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△213百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	債権回収	ファクタリング	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	299	50	349	0	350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	299	50	349	0	350
セグメント利益又は損失(△)	△23	38	15	△107	△92

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△107百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。